

歴史的砂防施設の保存活用ガイドライン

参考資料

参 考 資 料 目 次

参考資料 - 1

- 1 . 国の重要文化財（建造物）及び登録有形文化財の種別件数一覧・・・ 1
- 2 . 登録有形文化財に登録されている砂防施設一覧・・・・・・・・・・・・ 1

参考資料 - 2

- 歴史的砂防施設の評価の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

参考資料 - 3

- 重要文化財の指定基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

参考資料 - 4

- 歴史的砂防施設に適用が考えられる補修方法・・・・・・・・・・・・ 4

参考資料 - 5

- 歴史的砂防施設の活用に関する課題とポイント・・・・・・・・・・・・ 6

参考資料 - 1

1. 国の重要文化財（建造物）及び登録有形文化財の種別件数一覧

[重要文化財（建造物）の状況（2002.12.26 現在）]

近世以前	近代								合 計
	宗教建築	住居建築	学校建築	文化施設	官公庁舎	商業・業務	近代化遺産	その他	
2043	15	53	31	24	19	14	16	15	2230

[登録有形文化財の状況（2003.3.20 答申分含む）]

種 別			時 代 別				計
建築物	土木構造物	その他	江戸	明治	大正	昭和	
2786	200	463	498	1094	871	986	3449 件

種 別												計
産業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	その他	
1次	2次	3次										
68	353	444	114	68	137	143	144	1525	353	60	40	3449 件

註) 砂防施設は登録有形文化財の種別の内、「土木構造物」、「治山治水」に該当する。

2. 登録有形文化財に登録されている砂防施設一覧

[登録されている砂防施設の種類別の状況(2003.3.20 答申分含む)]

分類	件数
砂防堰堤(砂防ダム含む)	50
階段工	1
流路工	4
床固工	4
合計	59

[登録有形文化財に登録されている砂防施設一覧(2003.3.20 答申分含む)]

所在地	名称	登録年月日	富山	大山町	白岩砂防ダム	1999.06.07
栃木 日光市	稲荷川第六砂防堰堤	2002.08.21	富山	大山町	本宮砂防ダム	1999.08.23
栃木 日光市	稲荷川第四砂防堰堤	2002.08.21	富山	大山町	泥谷砂防堰堤	2002.06.25
栃木 日光市	稲荷川第二砂防堰堤	2002.08.21	山梨	勝沼町	勝沼堰堤	1997.05.07
栃木 日光市	稲荷川第三砂防堰堤	2002.08.21	山梨	南アルプス市	芦安堰堤	1997.09.03
栃木 日光市	稲荷川第十砂防堰堤	2002.08.21	長野	松本市	牛伏川階段工	2002.08.21
栃木 日光市	釜ヶ沢下流砂防堰堤	2002.08.21	長野	安曇村	釜ヶ沢堰堤	2002.08.21
栃木 日光市	釜ヶ沢砂防堰堤	2002.08.21	岐阜	南濃町	羽根谷砂防堰堤(第一堰堤)	1997.09.03
栃木 日光市	丹勢山砂防堰堤	2003.01.31	岐阜	南濃町	羽根谷砂防堰堤	1998.01.16
栃木 日光市	大久保砂防堰堤	2003.01.31	静岡	岡部町	木和田川砂防一号堰堤	2002.06.25
栃木 日光市	小米平砂防堰堤	2003.01.31	静岡	岡部町	木和田川砂防二号堰堤	2002.06.25
栃木 日光市	方等上流砂防堰堤	2003.01.31	静岡	岡部町	木和田川砂防三号堰堤	2002.06.25
神奈川 秦野市	猿渡堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川砂防四号堰堤	2002.06.25
神奈川 秦野市	山ノ神堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川砂防五号堰堤	2002.06.25
神奈川 秦野市	戸川堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川砂防六号堰堤	2002.06.25
新潟 新井市	万内川一号堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川砂防七号堰堤	2002.06.25
新潟 新井市	万内川三号堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川砂防八号堰堤	2002.06.25
新潟 新井市	万内川四号堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川一号流路工	2002.08.21
新潟 新井市	万内川六号堰堤	2003.03.18	静岡	岡部町	木和田川二号流路工	2002.08.21
新潟 新井市	万内川七号及び八号堰堤	2003.03.18	三重	菰野町	朝明川砂防堰堤(T11-1)	1998.09.02
新潟 新井市	万内川十号堰堤	2003.03.18	三重	菰野町	朝明川砂防堰堤(T11-2)	1998.09.02
新潟 新井市	万内川十一号堰堤	2003.03.18	三重	菰野町	猫谷第1堰堤	1998.09.02
新潟 新井市	万内川十二号堰堤	2003.03.18	三重	菰野町	猫谷第2堰堤	1998.09.02
新潟 新井市	万内川十三号堰堤	2003.03.18	滋賀	秦荘町	宇曾川流路工	2001.10.12
新潟 新井市	万内川十四号堰堤	2003.03.18	大阪	交野市	天野川砂防堰堤	2003.01.31
新潟 新井市	日影沢一号床固工	答申まで	大阪	交野市	尺治川砂防堰堤	2003.01.31
新潟 新井市	日影沢中流域床固工	答申まで	大阪	交野市	尺治川床固工	2003.01.31
新潟 新井市	日影沢上流域床固工	答申まで	岡山	総社市	井風呂谷川砂防三号堰堤	2002.02.14
新潟 新井市	クズレ沢斜路工	答申まで	徳島	脇町	大谷川堰堤	2002.02.14
新潟 湯沢町	大源太川第一号砂防堰堤	答申まで	愛媛	重信町	除ヶの堰堤	2001.08.28

註) 都道府県の北から表示

参考資料 - 2

[歴史的砂防施設の評価の考え方]

基準	具体的な例示	
1. 国土の歴史的景観に寄与しているもの	特別な愛称で親しまれている場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工法、工種、人物などに係わる歴史的背景を語る名称が付けられている ・ 地域において特別な名称、愛称で呼ばれている
	その土地を知るのに役立つ場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のランドマーク、シンボルとなっている
	絵画などの芸術作品に登場する場合	
	新たな景勝を創出した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の景勝として知られている壮大な景観などを創り出している ・ 周辺環境と一体化し豊かな自然景観の創出に寄与している
	地域の発展に貢献している場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農耕地の開拓など地域の土地利用に貢献している
2. 造形の規範となっているもの	デザインが優れている場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤体や水通しなどのデザインが優れている (石積みの形態、水通しの形態、アーチ形状、直線形状等)
	著名な設計者や施工者が関わった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂防技術などの発展に貢献した著名な技術者が関与している
	後に数多く造られるものの初期の作品	
	時代や建造物の種類の特徴を示す場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂防史の時代性を象徴する工種・工法が現存するもの
3. 再現することが容易でないもの	優れた技術や技能が用いられている場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国の貴重な構造形式等を導入している ・ 優れた計画または設計・施工技術が用いられている ・ 地域性を考慮した技法が用いられている
	現在では珍しくなった技術や技能が用いられている場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在では継承されていない貴重な工法・材料
	珍しい形やデザインで、他に同じような例が少ない場合	

参考資料 - 3

[重要文化財の指定基準]

国宝及び重要文化財の指定基準については以下のように定められている(昭和26年5月10日文化財保護委員会告示第二号、平成8年2月9日文部省告示第六号により一部改正)。

【建造物の部】

重要文化財：建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、次の各号の一に該当し、かつ各時代又は類型の典型となるもの。

意匠的に優秀なもの

技術的に優秀なもの

歴史的価値の高いもの

学術的価値の高いもの

流派的又は地方的特色において顕著なもの

国 宝：重要文化財のうち極めて優秀で、かつ文化的意義の特に深いもの

参考資料 - 4

[歴史的砂防施設に適用が考えられる補修方法]

歴史的砂防施設の補修・修復は原則として、破損劣化を克服し、かつ文化的価値を損なわない手法で行う必要がある。破損・劣化のタイプや施設の工法によって適切な補修方法を選定しなくてはならない。文化財的価値をもった歴史的砂防施設に適用が考えられる補修方法を施設タイプごとに示す。

a. コンクリート堰堤

《施設のタイプ》	《破損・劣化区分》	《補修方法》
純コンクリート堰堤 (既存部との色あわせ・ 原型の保持)	基礎洗掘	→ 根継・副ダム新設など
	漏水	→ 腹付コンクリート(上流側・下流側) ・グラウトなど
	堤体の摩耗	→ 腹付コンクリート(上流側・下流側)など
	堤体の変形・亀裂等	→ 腹付コンクリートなど
	水叩きの破損	→ 副堰堤新設・水叩き工補修など

b. 石積堰堤(練石積)

《施設のタイプ》	《破損・劣化区分》	《補修方法》
石積堰堤(練石積) 内部は粗石コンクリート (外観の復元)	基礎洗掘	→ 腹付石積み(上流側・下流側)・水叩き工の新設 石積の副ダム新設 コンクリート充填・捨て石など
	漏水	→ 腹付石積み(上流側・下流側)・堤体グラウトなど
	石積の欠落	→ 石の積み直しなど
	堤体の摩耗	→ 腹付石積み(下流側) 同一素材の石の積み替えなど
	水通しの浸食 ・摩耗等の破損	→ 石の積み直しなど
	堤体の変形・亀裂等	→ 腹付石積み・腹付コンクリート石積(上流側・下流側) など
	水叩きの破損	→ 同一素材の石による補修・捨て石 石積の副堰堤新設など
	石積みの風化	→ 同一素材の石の積み直し、 腹付石積み(上流側・下流側)など

c. 石積堰堤(空石積)

《施設のタイプ》	《破損・劣化区分》	《補修方法》
石積堰堤(空石積) 内部は土砂・砂礫 (構成材料、構造形式 が重要であること から、当時の技法を 極力再現する)	基礎洗掘	→ 根固工の新設・水叩き工の新設・石積の副堰堤新設など
	石積みの欠落	→ 石積の修復など
	水叩きの破損	→ 水叩き工の修復・石積の副堰堤新設など
	石積みの風化	→ 石積の修復など
	堤体の変形・亀裂等	→ 内部締固め・石の積み直しなど

参考資料 - 5

[歴史的砂防施設の活用に関する課題とポイント]

活用アンケートの実態を踏まえ、文化財として取り扱う歴史的砂防施設の活用における課題と活用ポイントを一覧表にとりまとめる。

[歴史的砂防施設の活用のポイントと代表事例]

目標と期待される効果	課題	課題解決のポイント	具体的事例
歴史的砂防施設保存の視点			
文化財的価値を維持した施設の安全確保	施設の破損・老朽化	文化財の価値を損なわない維持・管理・補修	 水叩き基礎補修後、石積を丁寧に原型どおり張り直した尺治川砂防堰堤
砂防事業への理解	一般市民の砂防の理解度の不足	安全な地域創出についての情報を発信 人々の目を引きつける工夫	  築造時の荒廃した山地と現在の森林の状況を写真、地図等で比較する。   不動川では人々の目を引きつけるデレーケ堰などを利用し、砂防事業の理解促進を解説する散策コースを整備した。
地域づくりの資源		地域の歴史性を語る資源としての活用	
活用への配慮・施設の見せ方			
歴史的砂防施設を人々に見せる	砂防施設は山間部の人目につみにくいところにある	視覚的な演出・工夫 遠景：眺望ポイントの確保(砂防管轄外の場合、他機関の協力の確保) 近景：視点場の確保 夜間：ライトアップ等の照明演出	 万内川砂防公園の一面からの眺望  立山をバックにした白岩堰堤の眺望(このサイトは現在、一般の人々に開放されていないが、今後、整備が考えられる)  木和田川第8堰堤は遊歩道から見られる  稚内防潮堤におけるライトアップ
歴史的砂防施設のシンボル性の活用	シンボル性を高める配慮がなされている例が少ない	周辺施設の配置、素材、色彩に対する配慮 散策道など最低限の施設整備にとどめ、歴史的砂防施設を際立たせる	 歴史的施設の景観との整合性に配慮したと思われる万内川砂防公園  牛伏川が上流域では散策道のみでの簡易な整備にとどまる、
歴史的砂防施設に触れ、歴史性を感じる場の確保	安全管理の問題により、これまではアクセス確保は消極的傾向	現地の地形と施設形状から安全性を損なわないアプローチ確保が必要	 館の沢(宮城県)では、空石積の床固工周辺を公園整備した。散策道を近くに配置し、容易に近づける整備となっている。落差の大きい堤体等の構造物にはフェンス等による安全確保が必要となる。
広報・PR			
歴史的砂防施設のPR	施設の歴史的背景、経緯の記述、文化財としての案内不足の傾向 パンフレット配布箇所が限定的である	施設の歴史性を調査し、歴史的価値のPRポイントを把握し、アピールする 公共機関の受付のみに限らず、交通ターミナル、地元観光案内所等集客性の高い場所に設置する 情報データベース、webサイトの活用	 施工時の図面を交えて歴史性をアピールする万内川パンフレット  砂防事業の経緯をわかりやすく説明するサイト http://www.pref.kyoto.jp/sabo/kumohara_web/index.html
現地での広報、施設への誘導	実態として有効に活用されていない 文化財登録プレートが有効に活用されていない	施設への誘導サイン、案内板の見やすさ、記述内容を充実する プレートに設置場所、施設名称を加えるなどの工夫・検討が必要	 不動川(京都府)で整備された案内板  大崖の施設解説板  文化財登録プレートの設置例(芦安堰堤)
一般市民、住民等に対する施設の歴史性の理解促進・地域の安全創出に係る史実の継承	歴史の記録や資料をまとめた冊子を作成、配布した事例は少ない 施工時に係わった人々の発掘は時間の経過とともに困難になる	当時の歴史と関係者の掘り起こしを行い、その史実をまとめる 早急な史実のとりまとめ作業の実施	 事業の経緯や工事の逸話などを記した釜ヶ淵堰堤の小冊子  関係者を集めて開催した座談会(釜ヶ淵)
地域振興、活性化、砂防事業の理解促進	イベント開催箇所が少ない	砂防・活用事業主体に対するイベントの有効性の周知	 子供・住民向けイベント「砂防フェアin南濃」(岐阜県羽根谷)
管理・運営			
維持管理の労力または財源の確保(行政側から管理、維持費の財源の確保は困難)	民間団体やボランティアの活用をどのようにするか	郷土の施設として、地域の誇りとなる存在とする 計画段階から、地元市民団体やボランティアの参画	 地元住民の清掃活動が施設整備のきっかけとなった大谷川デレーケ堰堤。